

# 教育事業「第2回小学生ジオ探検隊」事業報告書

企画指導専門職 小宮 広明

## 1. 事業概要

- (1) 実施期間 平成27年9月26日(土)～27日(日)
- (2) 活動場所 国立阿蘇青少年交流の家他
- (3) 参加者 15名(小学生15名)
- (4) 事業内容
  - 1日目 わいた温泉郷  
鍋ヶ滝・遊水峡  
食べられるスコリア実験
  - 2日目 阿蘇ジオフェスタへの参加(場所:阿蘇草原保全活動センター)

## 2. 成果と課題

### (1) 成果

- ① プログラムの計画段階から、阿蘇火山博物館長、ジオガイドの方など、専門家の方からアドバイスを頂き、安全でかつ充実した活動ができた。特に、直前の行き先変更(中岳の噴火活動による行き先変更)に関しては、ジオガイドの方より参加者の実態に即した行き先を提案していただいた。
- ② 参加者については、2回目の参加ということもあり、表情の硬さもなく、他の参加者と協力する姿が1回目以上に見られた。
- ③ 今回の「ジオ探検」では、2日目に「阿蘇ジオフェスタ」への参加となったが、九州の他のジオパークに関することも学習でき、ジオパークに関して幅広く興味を抱かせることができた。
- ④ 参加者の感想には、「1回目と違って、班で話し合うと分からないことがすぐに分かるようになった。」「1回目よりも、阿蘇のことや他のジオパークのことが知れてよかった。」「3回目のジオ探検にも参加して、阿蘇の自然のことについてもっと知りたいです。」「もっと勉強してジオガイドを目指したいです。」などが見られた。中でも、「3回目のジオ探検隊へ参加したい」という言葉や「ジオガイド」になりたいという言葉が見られたことは、第1回、2回と継続した事業が、参加者への意欲の向上につながったことを感じた。

### (2) 課題

- ① 今回は、中岳の噴火活動により、当初予定とは違うジオサイトを回ることとなった。今後の噴火活動の様子を見ながら、探検先を計画することが必要である。
- ② 2回目ということもあり、参加者同士の会話や交流も深まったが、その分、「嫌なことを言われた」などの些細なトラブルもあった。参加者が小学生でもあるので、生活面でも細かく気を配ることが重要だと感じた。
- ③ 阿蘇ジオサイトに関する興味や関心を更に高めることはできたが、ジュニアジオガイドとして身につけた知識や情報を他者に伝えることができる態度を身につけさせるような工夫を次回以降行いたい。



「地獄蒸し料理」を体験



蒸気の温度を測定する参加者



池辺館長より説明を聞く参加者



ガイドの説明を聞く参加者（鍋ヶ滝）



ジオフェスタにてクロスワードに取り組む参加者



「ススキのふくろう」作りに取り組む参加者



第2回の終了証を受け取る参加者



集合写真